

平成 27 年度 事業実績報告書

社会福祉法人 窓 ふじの子保育園

1. 園児の確保

(1) 入所児童の状況

	定員	組数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	6	1	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
1歳児	9	1	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
2歳児	10	1	13	13	13	13	13	13	13	12	13	13	13	13	155
3歳児	10	1	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
4歳児	12	1	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
5歳児	13	1	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
計	60	6	65	65	65	65	65	65	65	64	65	65	65	65	779

入退所状況

- ・10月 退所 2歳児 1名（末日付）
- ・12月 入所 2歳児 1名

(2) PRの方法

- ①要覧、パンフレットの充実を図り、園見学者への明確な説明とともに園内での見学の明朗性をアピールすることにより、効果が上がった。
また、市広報での、子育て支援における親子登園の内容充実にも効果を上げることができた。
- ②園庭開放、園行事への参加が多く、親子で楽しんでもらうことにより、リピーターが多く、地域への貢献度が上がった。

2. 教育・研究の推進

(1) 保育目標

“子どもは宝”を基本理念とした保育は、職員一同十分理解し、コミュニケーションをとり、子どもと子ども、子どもと保育者がともに考え、生活していけるようできている。

(2) 教育課題

必要な時に2園合同で検討を行い、円滑な保育と楽しく園生活ができる環境を整えることができた。

(3) 研究課題

園内研究の延長線上で幼児発達研究会。遊びの環境を整え、遊びの充実を図る研究発表ができた。

それを基に伝承遊び（こま、お手玉、ごっこ遊び、あやとり、早口ことば、けん玉など）の楽しさを子どもに伝えることができ、保育者も専門性を高めることができた。

3. 職員構成

	27年度	備考
園長	1	
副園長	1	
主任保育士	1	

保育士	9	
保育士（パート）	4	
事務長	1	
心理士	1	
調理担当	2	業者委託

4. 施設、設備の整備

- (1) 1階テラス、屋上に紫外線除けのテントを設置したことにより、戸外活動の時間が長くとれ、子どもたちの精神的圧迫も減少した。
- (2) 教育研究用機器、備品
運動会、生活発表会でハンドドラムのリズムを奏でることができた。
- (3) その他
防災用品を常設することにより、災害時に備えることができる安心感があると共に、釜戸などは、お餅つきなどにも使用でき重宝している。

5. 収支計画

27年度決算書参照

6. その他

- (1) 延長保育は、17時30分まで実施していることが保護者のニーズに合い好評である。
短時間保育（9:00～17:00）開始と同時に延長保育料を小刻みに徴収することにより、会計処理も多様になる。
- (2) 地域の親子の支援活動はリピーターが多く、楽しみに参加している。
- (3) 講師招へいの授業は、子ども自身も変化のある保育を楽しみ、保育士も専門の知識を広めることができている。
- (4) 短時間保育児が発生したため、保育開始、おやつ時間を調整し、親子ともに安心して登園できるようにした。
一日の園生活安定のためのブレインジム体操、体操、季節の歌を楽しく歌えた。
- (5) 第二園開園に伴い保育内容がずれないように、保育者同士の会議を密に行ったので、“子どもは宝”の基本理念をぶれない保育に取り組むことができた。しかし、会議の時間が多く取られたため、保育者の負担は、はかりしれないものがあった。会議の持ち方の検討が必要である。
- (6) ふじの子保育園の特徴を運動会で出しつつも、広い場での運動量の確保が難しかったのが、今後の課題である。